

## 「見方を変えて」

1 学年主任 神戸 康志

今までに経験したことのない非常事態の中で、とまどいや不安があるかと思  
います。今は自分の身は自分で守るという意識をもち、手洗い、うがい、健康管  
理を徹底し、学校再開に備えてほしいと思います。

京都のお寺に行った際に仏教徒の僧侶の方に説法をしていただく機会があり、  
その時にいただいた話を紹介します。

『お腹が空いて家に帰ると、机の上には一日だけ賞味期限の切れたおにぎりが  
一つ。それしか食べ物はありません。みなさんは食べますか？』同じように、

『お腹が空いて家に帰ると、机には豪華な食事が並び、食べ切れないほどたく  
さんある。そのおいしそうな食べ物と一緒に、賞味期限が一日きれたおにぎりが  
一つ。みなさんは食べますか？』

『どちらの状況にしても、賞味期限が切れたおにぎりに変わりはありませんが、  
あなたの中のおにぎりの見え方は変わりませんか？』

物事の善し悪しは自分の置かれた状況や環境、考え方によって変化します。

現在、新型コロナウイルスの影響によってあたり前だったことが、あたり前で  
はなくなっています。今まで満たされていたものがなくなり、周囲の見え方も変  
わってきていると思います。学校生活、自由な時間など、本当にたくさんのもの  
を制限しなければならない状況です。このような中で今できること、限られた中  
でも自分にできることに目を向け、無駄にしないことは大事なのではないでし  
ょうか。生き抜く力が試されているような状況の今だからこそ、強い決意を持ち、  
目標を見失わずにいてもらいたいです。

教職員一同、みなさんが登校できる日を待ちわびて、準備を進めています。ど  
のようにしたらこの状況で学習が進められるのか。今できる準備はなんだろう  
か。どんなことに困っているのだろうか。日々考えながらいつでも再開できるよ  
うに、また学校生活が少しでも安全に送れるように準備を進めています。学校が  
始まればまた慌ただしく、様々な活動をしていくこととなります。家にいる時間  
やものごとを考える時間もなくなってきます。今だからできること、考えられる  
こと、今しかできないこともあるかもしれません。今は身近にあるものに感謝し、  
周囲に目を向け、見方を前向きに変えて生活してもらいたいです。